

**製品名:** リボソームタンパク質 L39 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab17164

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	6kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RPL39
別名	RPL39; 60S ribosomal protein L39
遺伝子 ID	6170.0
SwissProt ID	P62891
免疫原	抗血清はヒト RPL39 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

**背景**

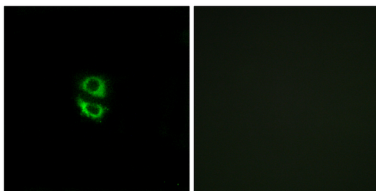
タンパク質合成を触媒する細胞小器官であるリボソームは、小型の 40S サブユニットと大型の 60S サブユニットから構成されています。これらのサブユニットは、4 種類の RNA と約 80 種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、60S サ

プユニットの構成要素であるリボソームタンパク質をコードしています。このタンパク質は、リボソームタンパク質の S39E ファミリーに属し、細胞質に局在します。ラットにおいて、このタンパク質はリボソームを構成する最小かつ最も基本的なタンパク質の 1 つです。この遺伝子は、第 2 イントロンに位置する U69 小型核小体 RNA 遺伝子と共転写されます。リボソームタンパク質をコードする遺伝子に典型的に見られるように、この遺伝子の複数の処理済み擬遺伝子がゲノム中に散在しています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],その他:このタンパク質は肝臓リボソーム中のタンパク質の中で最も小さく、最も基本的なものの 1 つです。類似性:リボソームタンパク質 L39e ファミリーに属します。、

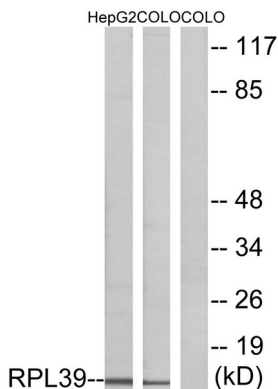
## 研究分野

リボソーム;

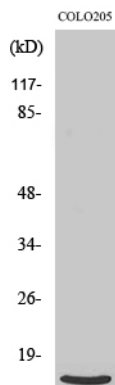
## 画像データ



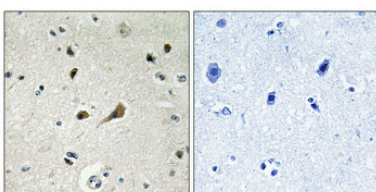
RPL39 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



RPL39 抗体を用いた COLO 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



リボソームタンパク質 L39 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。

